

生徒総会がありました。

5月2日、平成29年度 前期生徒総会が開かれました。執行部からの提案の内容は、平成28年度の後期生徒総会で提案されたものに少し修正を加えたものですが、新しく一年生が入ってきたこともあり、しっかりと提案できたと思います。

①生徒会スローガン
②「piece」を活かす学級会について

「①生徒会スローガン」は、全校生徒一人ひとりに心に留めておいてほしいもので、「piece」生徒一人ひとりがお互いに長所や短所を補い合い、特定の誰かではなくクラス・学年・全校で一つの附中という場所を作っていきたいという思いが込められています。
②「piece」を活かす学級会については、学級会の仕組みについてです。

元々学級会は各クラスで発表をしていきましたが、意見がなかなか出ませんでした。そのため各生活班にホワイトボードを配り身近な所から意見が出るように改善しました。これは生徒一人ひとりの意見や要望を生徒委員会まで汲み上げる非常に重要なものです。

体育座りでお尻が痛くなった人もいて大変だったと思います。執行部だけでなく、生活委員会・福祉委員会・給食委員会・保健委員会・図書委員会など各委員会の提案も最後までしっかりと聞き、心に留めて日々の生活をすこしだけだけだけでもいいです。

最後に、今回の生徒総会での議長・副議長を務めてくださった森田敦典さん、笹山侑希さん、様々な学校生活での目標を提案してくださった各委員会の皆さん、そして提案を聴き、承認してくださった全校生徒の皆さんに心よりお礼を申し上げます。

(坂田)

応援団活動開始!!

5月から2年生も加わり、新しい応援団の活動が始まりました。そこで、団長・副団長に意気込みを聞いてきました。

応援団、それはひよつとすると何の力も持たないのかもしれない。あと少しの後押しが必要なきに、目に見えないながらも、ほんのわずかでも後押しすることができれば嬉しい。

応援することは、ただの自己満足に終わってしまうのかもしれない。たとえそうであったとしても、自分は日々鍛錬している人たちを全力で応援したい。

伝わる、伝わらないという問題ではない。伝えるのだ。

影のちからにすらなれないかもしれない。それでも、熱い思いをただ真つすぐに伝えたい。

同じ学校で学ぶ人たちが、日々の努力の成果を発揮し、光輝く姿を思い描きながら...

ただ、応援することしかできませんが、それぞれの舞台で今の自分らしく輝かせることを、舞台裏から願っています。

(団長 小嶋秀さん)

僕らは今年3年生となり、応援団を引っ張っていく学年になりました。それは、必然的に全校を引っ張っていく存在であることを今年応援団に入って改めて思いました。だから、全校の前で恥ずかしい姿を見せたり、全力で声を出さなかったりして、全校の目本にならないような応援団ではいけないと感じました。僕は今年、副団長になりました。幹部は仕事も多いし、2年生の指導もあるけれど、自分の仕事を疎かにしないようにしていきたいです。

応援団は、大声を出すとか、馬鹿真面目なくらい大変な仕事です。当然、恥ずかしい仕事ではありません。けれど、全校の前に立つ学校で何個かしかないようなチャンスです。委員長になったり、執行部にはいつたりするよりだんぜん簡単です。そして、自分を変えるチャンスだと思っています。でも、応援することは誰にでも出来ることだと思おうので、たとえ、応援団じゃなかったとしても、応援団の一員と思え、しっかりと声を出し、ステージにいる人を応援しましょう。

(副団長 池田倫之さん)

注意して下さい

進学、進級をして2カ月がたとうとしています。みなさん生活には慣れてきたでしょうか。ここでは2つのことについて注意喚起をします。

1 部活時の貴重品や更衣後の衣類の保管方法

貴重品については、各クラスで朝学活の際に生活係の人に渡して、帰る際に職員室で受け取るか、各部活で集めて、それを顧問の先生に保管していただくようにして下さい。

更衣後の衣類につきましては部活ごとで集める事はできないので、それぞれ各自でサブバックや何か袋に入れて部活を行う場所に保管して下さい。

2 登下校の方法

自動車やバスを利用する人については、4月に全校ORで紹介した通り、乗車時、乗車中のマナーを守って下さい。自転車や徒歩で通学する人については、歩道を自転車を利用する、道いっぱいに広がって歩くなどは、他の人に迷惑をかけるのでやめて下さい。自転車通学の人は、登下校時に、タスキ、ヘルメットの着用を必ずしてください。

これらのことを守って良い学校生活を送りましょう。

(伊達)

今月の一文字

慣

読み方

音：カン
訓：なれる

意味

何度も同じことを繰り返してなじむ

新しい学年に進級してからもうすぐ2カ月。そろそろ生活にも慣れてきたのではないだろうか。皆さん、今がキラキラの附中生になるか、周囲に誇れない情けない附中生になるかの分かれ目です。これぐらいバレンだとうと不要物を持つて来る。誰かの悪口を言って盛り上がる。こんな行動をとっていますか。読みながらギクツとした人、きつっていると思いませんか。をするのって楽しいですよ。やっつけているその時は...でも、結局後に残るのは、いつまでもチクチク痛む心の傷と後悔の気持ちだけです。くだらないことをして苦しむより、少しずつでも良い行いをして自分を高めていきませんか。それは、あいさつかもしれない。友達へのちよつとしたやさしさかもしれない。そんな小さくても当たり前のことが何よりも大切だということを心に留めて学校生活を送ってください。

(定久)

編集後記

僕は木々が勢よく芽吹く5月が季節の中で一番好きです。みなさんも、木々や草花のように、部活や勉強に勢いを持って取り組んでいるのが5月ではないかと考えました。梅雨がはじまり、気持ち下がらないよう、やる気を持続させそれぞれの目標に向かって高みを目指し、一つのpieceとなりましょう。

(稲墻)